

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツかみのやま（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2025年 12月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10カ所	(回答数)	10カ所
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、園学校等の訪問先との連携がとれる。	情報交換を行いながら連携を密にしている。	訪問スタッフの知識や経験を充実させる。
2	通所支援と併用しているご利用者様に関し、通所支援と保育所等訪問支援で連携して支援を行い、困り感について対応できる。	訪問支援員と個別療育スタッフが情報共有を行いながら、訪問先とも連携して支援している。	今後も連携を強化していく。
3	保育所等訪問支援を行う事業所がまだまだ少ない中、地域にも求められる支援として確立させたこと。	訪問先のお手伝いという立場から始めることで、信頼関係を築く努力をしている。	それぞれの訪問先と築いてきた信頼関係を維持しながら、訪問支援についての理解と協力をお願いしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援についての研修や勉強会が少ない。	訪問支援に特化した研修や勉強会自体が社内、社外共に少ない。	まずは社内での研修や勉強会などで学べる機会を増やす。
2	支援員によって知識や対応力に差がある。	経験の浅い支援員が多く、学びの場も少ない。	研修機会の確保やOJTの体制の整備を行う。
3	訪問先によって出来る支援の内容が異なる。	事業所と訪問先との時間調整や訪問支援に対する目的や理解などが難しく、簡単な情報共有に留まる場合がある。	訪問支援の目的や理解をしてもらうための丁寧な説明と、訪問先の意向を受け止め、事業所と訪問先お互いに話し合いながら支援の方向性を検討していく。